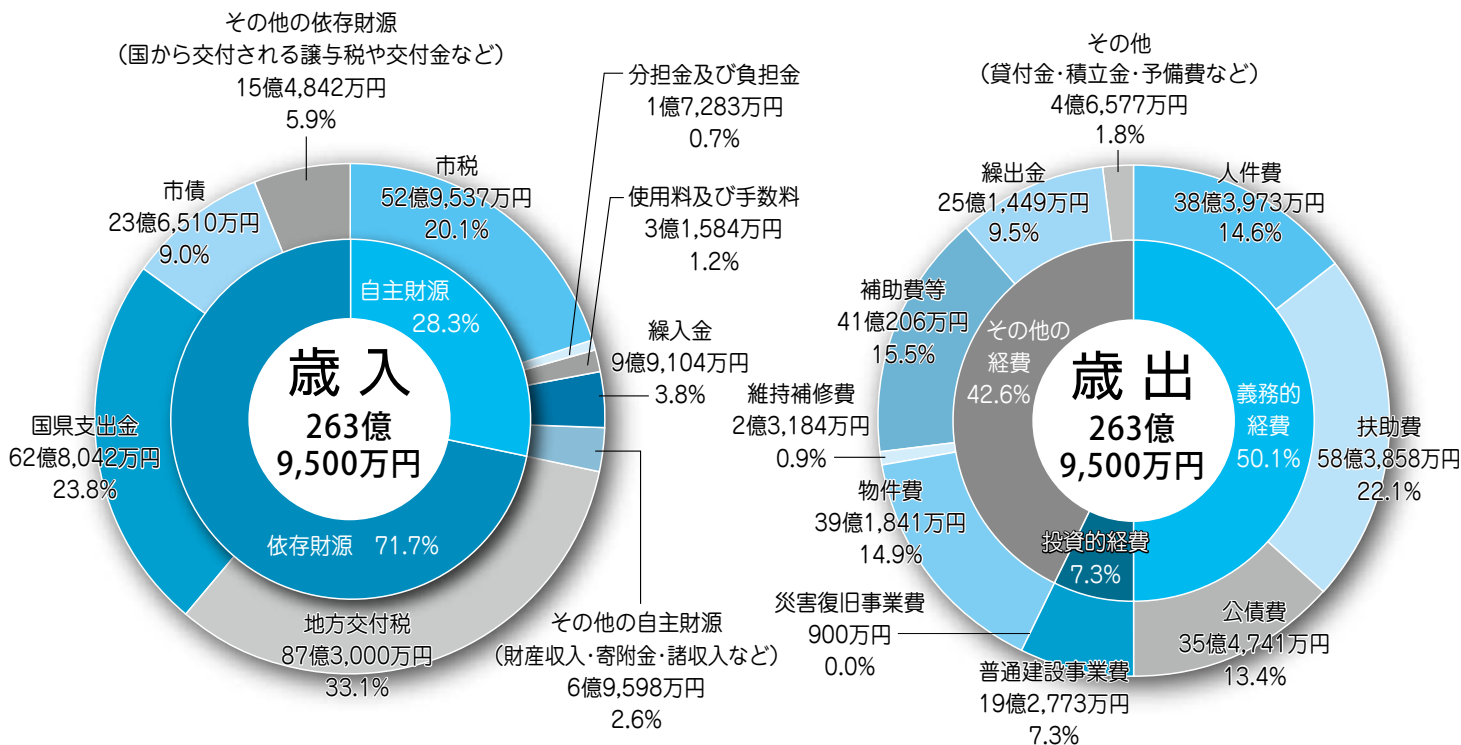


令和5年度の予算が決まりました！

一般会計

263億9,500万円

(前年度当初比 0.9%の減)



※金額は1万円未満を、割合は小数第二位を四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。

※歳出については、性質別分類にて表示しています。

主な事業

事業	予算額
窓口改革推進事業	7,535万円
障がい者・高齢者個別避難計画作成支援事業	464万円
益田地区広域市町村圏事務組合消防事務費負担金	16億3,353万円
中高連携学力育成推進事業	482万円
学校施設管理経費 (空調設備設置事業など)	2億6,055万円
サイクルスポーツ振興事業	1,480万円

令和5年度の一般会計の予算は、263億9,500万円となり、前年度の予算と比較して2億3,600万円の減額 (△0.9%) となっています。

歳出においては、市民の利便性向上や内部業務の効率化を実現するための窓口改革推進事業、避難行動要支援者について実効性のある避難体制を構築するための障がい者・高齢者個別避難計画作成支援事業、2030年開催予定の「第84回国民スポーツ大会、

第29回全国障害者スポーツ大会」を見据えた競技者の育成と、広く市民が自転車に親しむ環境を整備するためのサイクルスポーツ振興事業、小・中学生の学力育成と高等学校卒業後の選択肢の充実を目的とした中高連携学力育成推進事業、益田地区広域市町村圏事務組合における消防庁舎建設事業等に係る負担金、また、教育環境の充実に向け、老朽化した学校教員・遊具の計画的な更新を行うとともに、引き続き、小・中学校の特別教室への空調設備設置工事などを実施します。

歳入においては、市税収入は、52億9,537万円となり、前年度より7,382万円の増額 (1.4%)、地方交付税については、87億3,000万円となり、前年度より1億2,000万円の減額 (△1.4%) を見込んでいます。

将来の負担となる市債については、23億6,510万円となり、前年度より1億7,420万円の減額 (△6.9%) となっています。また、歳入の不足を補うために、財政調整基金を5億円取り崩しています。

目的別分類による歳出の状況

※増減率は令和4年度当初予算額との比較になります。

区分	予算額	増減率	主な内容
議会費	1億7,629万円	△3.4%	議会の運営など
総務費	28億9,676万円	△4.7%	庁舎の管理、徴税、選挙の執行など
民生費	93億8,033万円	△3.7%	高齢者や障がい者福祉、子育て支援など
衛生費	21億5,571万円	△28.7%	医療対策、病気の予防、ごみ処理など
農林水産業費	11億1,720万円	△13.3%	農業や林業、水産業の振興など
商工費	7億3,720万円	27.6%	商業や観光の振興、企業誘致など
土木費	23億9,823万円	25.0%	道路、公園、市営住宅の整備や維持管理など
消防費	17億5,288万円	88.8%	消防、救急救命など
教育費	21億9,080万円	4.3%	小中学校、公民館の運営、文化財保護など
公債費	35億4,741万円	△5.9%	これまでに借り入れた市債の返済
その他	4,219万円	△40.0%	労働費、災害復旧費、予備費

用語解説

- 一般会計……行政運営を行うための基本的な経費を網羅した地方公共団体の基本となる会計
- 自主財源……市が自主的に収入できる財源
- 依存財源……国や県から交付、割り当てられる財源
- 市税……市民税や固定資産税など、市民の皆さんに納めていただく税収入
- 地方交付税…税金などでは財源が不足する場合でも一定の行政水準を確保できるよう、国から交付される地方固有の財源
- 国県支出金…補助対象事業の実施状況に応じて、国や県から交付される補助金など
- 市債……公共施設の建設など、市が一度に多額の支出を必要とする場合に認められる長期の借入金
- 公債費……市債の元金と利子の支払に要する経費

特別会計 ※歳入歳出同額となります。

会計名	予算額	増減率
施設貸付事業	3,861万円	△2.6%
介護保険	61億6,284万円	△1.3%
国民健康保険事業		
事業勘定	47億7,912万円	△8.9%
美都・匹見澄川・匹見道川診療施設勘定	4,889万円	△0.1%

会計名	予算額	増減率
後期高齢者医療	15億6,374万円	△0.4%
市有林事業	2,491万円	10.5%
匹見財産区	750万円	△57.8%
駐車場事業	3,220万円	46.9%
土地区画整理事業	6,716万円	△50.0%

公営企業会計

会計名	区分	収入	増減率	支出	増減率
下水道事業	収益的収支	5億7,568万円	9.1%	5億5,588万円	8.1%
	資本的収支	6億1,375万円	8.3%	7億9,301万円	11.6%
水道事業	収益的収支	11億6,917万円	△0.2%	11億919万円	1.6%
	資本的収支	4億9,986万円	49.2%	11億170万円	28.0%

■『特別会計』とは……

特定の歳入歳出を一般会計とは区別して処理するための会計で、国民健康保険事業のように特別会計の設置が法律上義務付けられているものや、土地区画整理事業のように条例によって設置を定めているものがあります。

益田市には、施設貸付事業を含め8つの特別会計があります。

■『公営企業会計』とは……

地方公共団体の行う事業のうち、水道や下水道など、主としてサービスを利用する方からの料金収入をもって、当該事業に要する経費に充てる会計のことを指します。

使用料金を主な収入として施設の維持管理や借入金利息返済などを行う収益的収支と、企業債などを主な収入として施設の建設や借入金元金返済などを行う資本的収支に分けられます。